

2018年度 事業計画

1. WAC事業（公益目的事業・その他事業1・その他事業2）

*WAC（ウェルディングコミュニティ）事業：

1989年（平成元年）に厚生省（現厚生労働省）が「ふるさと21健康長寿のまちづくり事業」としてスタートさせた施策で、地域で暮らす高齢者が健康で安心し、生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざして、地域全体に社会福祉サービスを提供するために、健康・福祉施設を総合的に整備する事業

○公益目的事業：WAC法に基づく施設（疾病予防運動センター・高齢者総合福祉センター・在宅介護サービスセンター・有料老人ホーム）の設置および運営

○その他事業1：疾病予防運動センターのうち60歳未満の利用者（全利用者の3割相当）に該当する部分

○その他事業2：老人保健施設・訪問看護ステーション・ケアプランセンター（奈良事業のみ）

(1) 奈良事業

（厚生労働省WAC認定事業：1990（H2）.10.17付）

① 疾病予防運動センター（WAC第1号施設）

【ニッセイ・アーク西大和】

○地域社会との連携・交流

- ・2018年度より業務委託先が株式会社コナミスポーツクラブからセントラルスポーツ株式会社に変更になるため、受託の継承を円滑に進め、利用者へのサービスレベルの維持向上に努めます。
- ・利用者の特性と新受託者の特長を踏まえ、より魅力を感じてもらえるようプログラムを改編します。

② 診療所（WAC第1号施設付置診療所）

【ニッセイ聖隷クリニック】

○地域社会との連携・交流

- ・河合町保健事業への協力や地域住民の受託検査、特定健診、予防接種の実施、献血活動の協力などを推進し、人間ドック等の健診の予約拡大や内科・整形外科及び物理療法患者数の増加など地域の医療機関としての役割発揮の向上に努めます。また在宅・老健事業とも連携し地域の医療面でのサポート体制を充実させます。
- ・奈良ニッセイエデンの園内における有料老人ホームの協力医療機関として、終末期医療や緩和ケアの実践に取り組みます。また、看取り体制を更に強化するために、お元気なうちからアドバンス・ケア・プランニングを進めていきます。

○診療報酬改定や第3期特定検診及び特定保健指導への迅速な対応と適正な収益確保に努めます。

③ 高齢者総合福祉センター（WAC第2号施設）

【ふれあいプラザ】

○地域社会との連携・交流

- ・文化教養講座の拡充を図れるように、これまで開催していない「暮らし」「芸術」「時事」などをテーマとした新規講座開催に向けての調査・研究を行い、年度内に2講座の開催を目指します。
- ・外出企画では好評の「文楽鑑賞」「クラシック鑑賞」以外に数々の要望を精査し、これまでの枠にとらわれず、より「愉しみ」と「刺激」を感じる企画とします。

④ 在宅介護サービスセンター〔訪問介護、福祉用具貸与・販売事業〕

（WAC第3号施設）【ニッセイせいれい在宅介護サービスセンター西大和店】

○地域社会との連携・交流

- ・地域行政の主催する地域包括ケア会議などの各種会議へ積極的に参加し、地域包括ケアシステムに寄与することを目指します。
- ・総合事業指定事業者として近隣市町との連携を強化し、地域包括支援センター・地域居宅支援事業所・在宅事業所等との連携の中で、引き続き更なるサービス提供体制の充実に努めます。

⑤ 訪問看護ステーション〔訪問看護事業〕（WAC第3号関連施設）【訪問看護ステーション西大和】

○地域社会との連携・交流

- ・近隣医療機関との連携を強化し、利用者数の増加を目指します。また、重度の利用者の受け入れ対応ができるように、人員体制を整備し、質の高いケアの提供を行います。

⑥ ケアプランセンター〔居宅介護支援事業〕（WAC第3号関連施設）【ニッセイせいれいケアプランセンター西大和】

○地域社会との連携・交流

- ・介護保険制度改定に対応しつつ、地域包括ケアシステムの一部を担うため、河合町や地域包括支援センターからの依頼や開催される各種会議に積極的に参加し、地域との結びつきを強めます。
- ・当センターが中心となり、在宅事業所で地域防災の取組みを継続します。

⑦ 有料老人ホーム〔特定施設入居者生活介護事業〕（WAC第4号施設）【奈良ニッセイエデンの園】

○地域社会との連携・交流

- ・「地域連携グループ」を中心にした活動を継続し、「認知症啓発イベント：RUN伴」やフリーマーケットなど、地域住民との交流を更に深めていきます。また介護・予防事業への講師派遣など、地域貢献を推進します。
- ・地域との防災に関する協力を推進し、災害対策協力を推進します。
- ・地域における「介護サービス」の拠点および「学び」の拠点となるための整備を推進します。

○エデン版地域包括ケアシステムの運用を開始し、『いきいき生活室』としての体制づくりを進め、健康、生きがい、安心を感じていただくことができる施設づくりに取り組んでいきます。

○『高齢者と認知症にやさしいエデンづくり』を更に深めるために、入居者と認知症について学び、理解していくことに注力していきます。

○『健幸生活』作りを継続、定着させることで、介護予防を充実していきます。

○大食堂、喫茶ラウンジの食事委託業者変更による協力体制強化やサービスの充実を図り、喫食数向上に努めます。

○入居者募集においては、全職員が一体となって今後も引き続き入居者募集機能を強化することで、高い入居率の維持に努めます。

○介護居室増室（6室）により、住み替えが必要とされる方への適切な対応を推進します。

○感染予防対策の徹底とコンプライアンスを意識した運営を図ります。

○その人らしさを最後まで支える介護のために、人財育成委員会を中心に経験年数やスキルに応じた園全体の勉強会を年間計画に沿って実施し、サービス・接遇能力の向上にむけたスキルアップに繋がります。

⑧老人保健施設 [介護老人保健施設、短期入所療養介護、通所リハビリテーション]
(WAC付帯施設) 【奈良ベテルホーム】

○地域社会との連携・交流

- ・地域・行政・他事業所との連携を図り、利用者が望まれる生活支援を実践します。また2015年度から実施している施設整備を継続し、利用者にとって安心・安全な生活環境を提供し、満足度向上に繋がります。
- ・家族介護教室の開催など、地域住民に高齢者福祉の理解を深める働きかけを継続して実施します。また、地域ボランティア活動の支援など地域包括ケアへの参画を積極的に行います。

○介護報酬改定に対応したサービス提供と複合施設の強みを活かした渉外活動を継続し、利用者を積極的に受け入れ、安定した経営に努めます。

○利用者個々の利用目的によって異なるニーズに応えるために、個別ケアのスキルアップの他に、家族とのコミュニケーションを密に行いサービスの質の向上に繋がります。また、昨年外部講師を招いて実施した接遇研修を参考に施設内接遇教育を計画的に実践してまいります。

(2) 松戸事業 (厚生労働省WAC認定事業：1994(H6).12.15付)

①疾病予防運動センター (WAC第1号施設) 【ニッセイトラフィットネスクラブ 松戸】

○地域社会との連携・交流

- ・地域イベントへの参加などにより、地域での認知度アップに向けた活動を継続するとともに、地域会員数の拡大を図ります。
- ・「ニッセイ松戸アカデミー」と連携し、参加型イベントの充実を図ります。

②診療所 (WAC第1号施設付置診療所) 【松戸ニッセイ聖隷クリニック】

○地域社会との連携・交流

- ・各課との連携を強化し、各職種の特徴を活かしたチーム医療の実践により、入居者、利用者、患者へ安心と信頼を提供します。
- ・医療看護サービスの充実を図るとともに、最新医療機器も活用しながら、地域への貢献、地域医療連携の充実に努めます。

③高齢者総合福祉センター (WAC第2号施設) 【ニッセイ松戸アカデミー】

○地域社会との連携・交流

- ・エデンの園のノウハウを地域にお住まいの方にも還元できるよう、介護予防に重点を置いた企画の展開を検討してまいります。
- ・地域の障がい者施設や福祉施設の出張販売の場所として、当園を積極的に活用してもらうことにより、地域支援に貢献します。
- ・園の紹介記事を増やした地域向け広報紙を継続発行し、情報発信機能の充実に努めます。

④在宅介護サービスセンター [訪問介護事業] (WAC第3号施設) 【ニッセイデンヘルプステーション】

○地域社会との連携・交流

- ・日常生活支援総合事業が活発化している中、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等との連携を強化し、地域住民に選んでいただける事業所になるべく、サービス体制強化に取り組みます。
- ・松戸市や地域主催の意見交換会・サービス提供事業所向け説明会等に積極的に参加し、交流および情報収集に努めます。

⑤有料老人ホーム [特定施設入居者生活介護事業] (WAC第4号施設) 【松戸ニッセイエデンの園】

○地域社会との連携・交流

- ・松戸市および松戸市立福祉医療センター東松戸病院等との連携、情報共有を密にし、今後の地域連携の一翼を担う施設としてのビジョンを明確に打ち出す年としてまいります。
- ・コンプライアンスの徹底や、障がい者雇用の促進など、社会的責任への取り組みの充実に努めます。
- ・松戸ニッセイエデンの園に関わるすべての人々が共有し遂行する目標として定めた「松戸ビジョン」の具現化を図り、すべての入居者にとって「我が家」となる施設の実現を目指します。
- ・自立時・要支援・要介護・看取り時と容態に合わせたシームレスなサービス体制のさらなる発展を目指します。
- ・入居者サービス充実のため、接遇意識の向上を目的とした外部研修にも積極的に参加し、そこで得たスキルを園全体に還元する仕組みを作ります。
- ・入居者参画型の企画・行事を充実させ、孤立しがちな入居者のコミュニティづくりを目指します。
- ・松戸市指定の災害時の一時避難所として、近隣の施設との連携を深めます。
- ・入居者の協働・参画を得ながら、園全体で環境・省エネ活動を推進します。

2. 調査研究事業(公益目的事業)

(1) 地元行政機関等と連携した地域住民への高齢期の「健康」「生きがい」「安心」「住まい」の4分野(以下「4分野」という)に関する情報提供

○奈良施設・松戸施設の立地する奈良県河合町や松戸市等と連携し、4分野に関わるテーマによるイベントやセミナーの開催を通じ、地域住民への情報提供の取組みを継続します。

(2) WAC事業の展開の中で、4分野に関するノウハウ・スキルの研究と成果の関係諸機関への情報提供

- WAC事業に関連して、高齢期の生活向上に関するテーマで調査研究を実施します。
 - ・コミュニティ作りのツールとなる「あんしん電話」活動の定着・継続に向け、松戸市エリアにおける高齢化率の高い地域でのシニアと若い世代が、互いに補完し合う見守り体制の仕組みを検証します。見守りボランティアの役割と責任範疇を洗い出すとともに、安心できる、有意義な活動を保証するための方策などについて考察を行います。
 - ・奈良施設においては、認知症・介護予防を目的とした研修や講座への取組みの強化とともに、高齢者が生き生きとした生活を送れるよう、生きがい作りや役割作りの環境整備を行います。
- 奈良施設・松戸施設の各職場内で4分野を題材にした調査研究並びに発表会(福祉学会)を開催し、その研究成果について介護・福祉関係機関や専門学校等への情報提供に努めます。
＜社会福祉法人聖隷福祉事業団との共同研究＞

(3) 地域住民等への4分野に関する情報提供活動の実施

- 奈良施設・松戸施設内において、11月の「介護の日」にイベントを開催し、地域高齢者およびその家族に向けた介護・医療・福祉の知識向上への取組みを継続するとともに、高齢者の理解と援助を推進する外部イベントへの参加を行います。
- 有料老人ホーム等の高齢者施設の情報提供の一環として、高齢期の住まいをテーマにしたイベントを開催します。

3. 奨学金助成事業(公益目的事業)

- 介護福祉士・理学療法士・作業療法士という介護事業を担う人材の育成を支援する観点から、介護福祉士等を目指す学生に奨学金を支給します。

以上